

とちぎ歴史資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）

とちぎ史料ネットとは

とちぎ史料ネットは2019年10月の東日本台風（台風19号）で、佐野市の個人宅に所蔵された歴史資料が被災したことを契機に、その保全活動に取り組む中で設立されました。主な活動として、被災史料の保全作業を行うとともに、こうした歴史資料の救出・保全作業の経験を共有し、被災を未然に防ぐことを目指す活動にも取り組んでいます。

佐野市の個人宅で長年収集された戦争関連資料が水損し、歴史資料ネットワークがレスキューのため来県。このレスキューをきっかけにとちぎ史料ネットが誕生しました。



とちぎ史料ネットのこれまで

2019年～

佐野水損史料保全作業

安蘇史談会の協力を得て整理作業を実施



2021年

設立総会・記念シンポジウム



2022年

平時の史料所在把握や水損史料の取り扱いについての研修会実施



2023年

歴博拠点研究会「栃木地域の歴史文化資料情報と多分野連携の可能性」開催

とちぎ史料ネットのこれから ～歴史とともにある心豊かな地域社会を～

1. 定期的な研修会や学習会・意見交換会を開催する
2. 佐野水損史料の保全作業を収束し、今後の対応を検討する
3. 県内市町村・県と市町村の社会福祉協議会・災害ボランティア団体との連携を模索する
4. 歴史資料の保全（廃棄防止等）を呼びかけるチラシを作成する
5. 史料所在情報の把握を進める

とちぎ史料ネットのチラシ作成中!!

平時から配布できるものを目指しています。ご意見ください!

案



家や集会所などに残された古い資料は、地域の歴史や人びとの思いを今に伝える貴重な文化財です。私たち「とちぎ史料ネット」は、歴史資料を守り、未来に伝えていくために活動しています。もし「古いものかもしれない」「貴重なものかもしれない」というものがあつたら、処分せずに「とちぎ史料ネット」までお問い合わせください。



地域に残っている歴史資料とは

- 和紙に文字が書かれたもの
- 古い日記やノート
- 農機具など生活のための道具
- 古いふすまや屏風（下階りに古い資料が使われていることがあります）
- 和紙を綴じた古い本
- 写真やアルバム、ビデオテープ
- 自治会や企業の記録

水に濡れていたり、泥で汚れていたりしても修復が可能なことがあります

とちぎ史料ネットは災害から歴史資料を守り、未来に伝えます



これまで災害が起きる度に、多くのかけがえのない歴史資料が失われてきました……。とちぎ史料ネットは、地域に残る歴史資料を自然災害等から守り、未来に伝えていくことを目的に活動するボランティア組織です。歴史資料とは、古文書だけでなく、印刷物・写真・民具など、歴史を伝えるすべてのものごとで、博物館等の所蔵機関だけではなく、民間の個人宅などにも多く存在しています。当ネットは、2019年10月の東日本台風（台風19号）で、県内の個人宅に所蔵された歴史資料が被災したことを契機に、その保全活動に取り組む中で設立されました。主な活動として、被災史料の保全作業を行うとともに、こうした歴史資料の救出・保全作業の経験を共有し、被災を未然に防ぐことを目指す活動にも取り組んでいます。

会員登録・寄附のお願い

資料レスキュー、クリーニング作業など、史料ネットの活動を継続的に行っていくためには人手と資金が必要です。ともに活動したい方、活動はできないが趣旨に賛同頂ける方など、ぜひ下記のホームページから会員登録・寄附をご検討ください。



とちぎ史料ネットは、栃木県が定める文化財の保存・活用の指針「栃木県文化財保存活用大綱」にも掲載されている団体です。

とちぎ歴史資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）
mail tochigi.shiryonet@gmail.com
HP <https://tochigi-shiryonet.1web.jp>



とちぎ歴史資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）
mail tochigi.shiryonet@gmail.com
HP <https://tochigi-shiryonet.1web.jp>

